

主催：全模研

# 第9回 全国中高教育 模擬国連大会 AJEMUN

～ 高校生の高校生による高校生のための模擬国連大会～

## 『AIと軍事』

AI and the military

8/4(月)-8/5(火)

国立オリンピック記念青少年  
総合センター(東京・代々木)

## 目次

目次	2
大会実行委員長の挨拶	3
セクションリーダーの挨拶	4
運営受付セクション	4
フロントセクション	5
広報セクション	6
大会事務局長の挨拶	8
スケジュール	9
基調講演(開会式)	10
会場地図	11
参加校一覧(公開日時点)	12
後援団体・協賛企業一覧(公開日時点)	13
後援団体	13
助成団体	13
協賛企業	13
協力	13
大会実行委員一覧	14
大会実行委員長	14
運営受付セクション	14
フロントセクション	14
広報セクション	15
BG担当	15
大会事務局一覧	16
大会事務局長 宮坂 武志(浅野中学校・高等学校)	16
運営受付セクション	16
フロントセクション	16
広報セクション	16
BG担当	16
事務局スタッフ	16

## 大会実行委員長の挨拶

齊藤 央（渋谷教育学園渋谷高等学校）

皆さん、こんにちは。第9回AJEMUNの実行委員長を務めております、齊藤央と申します。

まずは、今年度のAJEMUNに全国112校から約750名もの参加者の皆様にご応募いただけたことを、大変嬉しく思っております。

改めまして、大会の実現に向けてご尽力いただいた運営の方々、事務局の皆様、各校の先生方、そしてスポンサーの皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、会議の実施日も近づき、リサーチがそろそろ本格化し始める頃かと思います。今回の議題は「AIと軍事」。平和な国で暮らしている私たちには、あまり馴染みの無い議題に感じられたでしょうか。しかし、正式には軍隊をもっていない日本でさえ、AIの軍事的利用を着実に進めています。そしてまた、AIは私たちの生活の一部になりつつもあります。実際、私もよく某AIチャットサイトに色々なタスクを依頼しています。やはり、非常に便利です。

そんな世の中で、今の不安定な世界情勢を受け、私はこの議題で会議をする必要性をひしひしと感じています。大使のみなさんは、今の世界を見てどう感じますか。リサーチをする上で、対立する国家について調べるとき、どう思いますか。

日常生活でもリサーチをする上でも、国家がなぜそういう動きをするのかが不可解に感じる時はよくあります。そのときに大事だと思うのは、さまざまなリソースを通してその理由を調べることです。

例えばリサーチをするとき、中東地域やアフリカ地域について、調べてもあまり文献が出てこないことがあると思います。それどころか、出てきたとしても、偏っている意見しか出てこない場合もあります。そんなときは、思い切って現地の言葉で調べてみるのも一手です。翻訳をするツールは、ネット上にいくらでもあります（それこそ、AIのツールもきっとあるでしょう）。親欧的な見解ばかり読んでいると、その国家についての情報は偏ってしまいます。自国のリサーチにおいても他国をリサーチする時でも、この心得をもてば、きっと新しい視点を得ることができます。

国家は、数多くの知識人が、協力して運営しています。非人道的な行為、過度に保守的な行為、国際社会から孤立するような行為、すべてには意図があります。その意図を、固定観念にとらわれずに、さまざまな視点から観察したら、必ずやあなたのリサーチは有意義な時間になると思います。

手前味噌ですが、こんなにタイムリーで、こんなに大切な議題はなかなか無いと思っています。

中高生の一夏を、このような議題に対しての知識・考え方を蓄える時間にしていただいている皆様は素晴らしいです。そしてそれらを一堂に持ち寄り、会議当日に互いに議論する姿を見ることを楽しみにしています。引き続き、会議準備を精一杯頑張ってください！

## セクションリーダーの挨拶

### 運営受付セクション

田嶋万桜（公文国際学園高等部）

AJEMUNIにご参加の皆さん、こんにちは。

第9回全国中高教育模擬国連の運営受付セクションリーダー、公文国際学園の田嶋万桜と申します。

まずは、今回の会議にご参加いただきありがとうございます。

本会議は”誰でも参加できる”模擬国連です。今年度は中学生議場が増えたこともあり、複数回参加していて賞を狙っていらっしゃる方がいらっしゃる一方で、はじめて模擬国連に参加する方も多くいらっしゃるかと思います。

初めてご参加の皆さんの中には、分からないことも多く、不安や緊張を抱えている方もいらっしゃるかもしれません。ですが、ぜひ恐れずに自信をもってどんどん発言してみてください。この会議に参加しているのは、この模擬国連に参加したいと自ら希望して参加した仲間です。この会議を通じて模擬国連に参加することの楽しさを体感し、全国から集まった仲間たちとの出会いを大切にさせていただけたらと思います。そのつながりは、きっと皆さんの糧となるはずです。

私たち実行委員一同、皆さんにとって本会議が価値ある体験となるよう、全力でサポートしてまいります。

私は模擬国連を、各大使が事前に担当国について調べ、知らなかったことを深く理解し、自身の考えや立場から離れて、担当国の立場から、他国の大使と同じ議題に対し対話を重ね、熱い議論を繰り広げ、共通の部分を見出し、より深めていくものではないかと考えています。これは模擬国連だけではなく、実際に社会の一員として過ごすうえでもとても重要なことではないでしょうか。AJEMUNが終わった後も会議を通して考えたこと、身に着けた力を忘れないでいただきたいです。

また、会議を通して、悔しさや焦り、高揚感など様々な感情を味わうことがあると思います。それもまた模擬国連の醍醐味の一つです。ぜひ、みなさんにはこういった熱いおもいに心揺さぶられた瞬間を忘れないでいただきたいです。

最後にこの場をお借りして、本大会のためにご尽力いただきました事務局の皆様、顧問の先生方、後援団体・協賛企業の皆様、そして各実行委員の仲間たちに、心より感謝申し上げます。

いよいよ会議当日が近づいてまいりました。大使の皆さんは事前準備が大変な時期だと思います。運営受付セクションも当日に向けて着々と準備が進んでおります。暑くなってまいりましたので、お身体に気を付けて無理せずお過ごしください。皆さんと当日の会議にてお会いできることを楽しみにしています！

### フロントセクション

中田侑之介（浅野高等学校）

「模擬国連」それを聞いて貴方は何を思い浮かべますか？

それは多様で、無限で答えは人それぞれです。ただ一つ断言できること、それは「模擬国連は全ての人にとって”新たな何か”への架け橋である」ということです。

皆さん、こんにちは！第9回全国中高模擬国連大会(AJEMUN)のフロントセクションリーダーを務めさせていただく浅野高等学校三年中田侑之介と申します。まずはこの場をお借りして本大会の開催を支えてくださっている後援団体・協賛企業、事務局の皆さん、顧問の先生方、そして何より実行委員のみんなに改めて心より感謝を申し上げます。大会に参加される大使の皆様はリサーチが大変な時期でしょうか、フロントセクションでも大使の皆さんに向けての資料等を順次公開しています。ぜひ楽しみながらリサーチを進めて行ってください！

さて皆さん、今年度のAJEMUNには全国各地から約750名ほどの中高生の参加が決定しました。模擬国連への参加が初めての方々をはじめ、会議経験が豊富な方々まで本当に多くの中高生が全国から参加していただく形となります。そんな全国から様々な中高生が集まり同じ場所で議論を交わし、その翼を広げられるAJEMUNは一つのとても貴重な機会です。そこでぜひ皆さんには「新しい何か」を自分の眼から発見して頂きたいです。模擬国連は全ての人にとって等しく成長の機会であり、発見と新たな世界への架け橋でもあります。ある人はそれを機に国際社会の今まで見えなかった現実と理想の間に気づき、ある人はそれを機に会議中の”大使”を演じる新たな自分の存在に気づいたり、またある人はその先もずっと続くような友に出会うこともあります。このAJEMUNでの貴重な二日間をどう使うかは皆さん次第、何かにチャレンジする事、全力で楽しむ事、アワードを目指して精一杯頑張る事もその全てがその人に合った形で一つの経験と成長、そして思い出の一片となります。

最後に本大会を彩る最大の主役は大使の皆さんです！総勢750名にも上る大使の皆さんが白熱した議論を交わすこと、そしてそこから一歩成長を遂げていくことは正に本大会の素晴らしい部分であり、その姿を見る事は自分にとってこの上ない楽しみでもあります。ぜひAJEMUNという架け橋を通じて自分だけの”新たな何か”を探してみてください！大会当日、皆様とお会いし共に最高の会議を作り上げることを心より楽しみにしています！

## 広報セクション

吉野紅彩（大妻高等学校）

大使の皆さんごきげんよう。

この度、第9回全国中高模擬国連大会の広報セクションリーダーを務めさせていただきます。大妻高等学校高校3年の吉野紅彩です。今回は、第9回全国中高模擬国連大会(AJEMUN)にご参加いただき、誠にありがとうございます。

今大会の議題である「AIと軍事・AI and the military」は、まさに今世界が直面している重要課題の一つです。軍事利用におけるAI技術の急速な発展は、国際社会に多くの可能性と同時に深い懸念を投げかけています。このような複雑な議題に向き合い、議論を交わす皆さんの姿は、まさに未来を担うグローバルリーダーそのもの

です。2日間という短い期間ではありますが、各国の立場を理解し合い、多様な価値観に触れる中で、かけがえない経験をいただけることを心より願っています。

私たち広報セクションは、「大使と実行委員との壁をなくしたい」という思いのもと、日々活動してきました。今大会では、大会公式バナーやBG表紙、会場内に掲示するポスターなどのビジュアルデザインの制作をはじめ、参加者向けの資料作成や情報解禁のお知らせの発信、そしてこの大会の魅力をより多くの人に届けるためのSNS運営に力を入れて取り組んできました。

さらに、今大会からは新たな挑戦として、実行委員の自己紹介動画やプロフィール帳の作成にも取り組んでいます。これも「大使と実行委員の距離を少しでも縮めたい」という願いから生まれた取り組みです。こうした広報活動を通して、大会の認知度向上や参加者の皆さんのモチベーションアップに少しでも貢献できれば幸いです。

そんな多岐にわたる仕事を行ってきた広報セクションですが、実はメンバーは私を含めてたったの3人。ですが、一人ひとりが「AJEMUNをより良くしたい」「この大会の魅力をもっと広めたい」という熱い思いを持って、ここまで全力で取り組んできました。この場を借りて、どんなに忙しい中でも共に頑張ってくれた2人の仲間に、心から感謝を伝えたいです。

大会まで残りわずかとなりましたが、広報セクションからまだまだ大使の皆さんを楽しませる企画を用意しているのでSNSのチェック&フォローをお忘れなく！また、大会当日は皆さんの真剣な姿や輝く瞬間を我々広報セクションが記録し、発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大使の皆さんにとって、この大会が単なる討議の場に留まらず、新たな視点や自分の可能性、そして何より、新たな同じ志を持った仲間に出会える、そんなかけがえのない時間となることを願っています。会議中、困難に直面することもあるかもしれませんが、しかしその分、得られる学びや成長はきっと大きなものになるはずです。

このAJEMUNという舞台が、皆さんにとって新たな一歩となりますように。

オリンピックセンターでお会いできるのを楽しみにしています。

ごきげんよう。

## 大会事務局長の挨拶

宮坂武志(浅野中学校・高等学校)

戦後80周年を迎える今年は、国連の創設から80年の節目の年でもあります。二度の世界大戦への深い反省から、国際の平和と安全を維持することなどを目的に国連は創設されました。それから80年が過ぎ、私たちはこの目的の実現が容易でないことを目の当たりにしています。とりわけ大国の思惑や一部の国の強硬な姿勢によって、国連が向き合うさまざまな課題の解決が難しい状況に度々直面しています。それでも多くの加盟国の地道な交渉や仲介によって、解決へと前進したものがあっても事実です。

国連が取り組まなければならない課題も膨れあがりました。停戦や軍縮はもちろん、温暖化や貧困・格差、ジェンダー平等に感染症対策など、現在の私たちが抱えるグローバルな問題は多岐にわたります。なかでも情報通信技術の飛躍的な発展は、瞬時に世界中の人々がつながることを可能にしました。同時に、曖昧な情報やフェイクニュースも拡散されるようになり、国際社会が直面する課題に対する認識の共有を阻害しかねない状況となっています。さらに人工知能(AI)が登場したことで、私たちを取り巻く世界に予測できない変化が生じる可能性も高まりました。その変化の先に描かれる未来は必ずしも安心できるものではないでしょう。ゆえに、AIを軍事技術やセキュリティシステムに利用した場合のリスクを想定しておくことが重要なのです。

今大会の議題である「AIと軍事」は、まさに今こそ真剣に話し合うべき内容です。AIを活用して精度を高めた軍事技術は、実際に起きている戦争ですでに使用されています。よって私たちはAIを何とかコントロールするか、AIと共存していかななくてはなりません。実際の国連でもAIの平和利用について、その懸念やリスクをふまえたうえでの議論が重ねられています。そのような時代を生きていく中高生の皆さん、今回の議題を決して他人事とせず、自分の将来に関わることとして受け止めてください。そして「国連」を模擬するこの活動をつうじて、世界中の国々の立場や状況を考えながら、国連が発足の際に掲げた「平和」を実現し維持するための最適解を見つけ出してください。

本来なら、今の時代に責任を持たなくてはならないのは大人たちですが、どうやら国連が掲げる目的を達成するのは困難なようです。この先の未来に責任を持つこととなる中高生の皆さん、代わりに国際平和のための有効な決議案を新鮮な発想で示してくれませんか。国連の創設から80年という節目の年、未来を築く若い皆さんが、平和のために熱い議論をくり広げる光景を今から楽しみにしています。

## スケジュール

時間	8月4日(月) 第1日目	時間	8月5日(火) 第2日目
9:00	受付開始	9:00	議場入場開始
9:30	開会式	9:20	会議開始
10:20	各議場へ移動	11:40頃	写真撮影 昼食40分(議場ごとに適宜)
10:30頃	会議開始	13:30	DR提出
12:30頃	昼食40分 (議場ごとに適宜)	14:40	表彰のための大使間投票
15:40	WP提出	15:15	会議終了
16:45	会議終了・諸連絡	15:45	閉会式
17:15~18:15	交流会 (参加は任意)	16:30	完全退場

※時間は多少前後する可能性があります。

※会議前、昼食や休憩中は他国との交渉は一切禁止です。

※会議開始前10分間に、第1弾のメモを封筒へ投函してください。

※受け付けは1日目のみ行います。2日目は各自で議場に入り着席してください。

※スピーチ 1カ国あたり **1分30秒**

## 基調講演(開会式)

### 落合 陽一(おちあい よういち)氏

筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長/准教授



#### プロフィール

筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学大学院学際情報学府にて博士号取得。応用物理、計算機科学を専門とし、研究論文は難関国際会議Siggraphなどに複数採択。現在、筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長/図書館情報メディア系准教授・ピクシーダストテクノロジーズ(株)代表取締役会長CEO。内閣府、厚労省、経産省の委員、2025年大阪・関西万博のプロデューサーとして活躍中。

# 会場地図



議場	種類	会場
A議場	高校一般	カルチャー棟 大ホール
B議場	高校一般	カルチャー棟 小ホール
C議場	高校一般	国際交流棟 国際会議室
D議場	高校初心	センター棟 101
E議場	高校初心	センター棟 102
F議場	高校初心	センター棟 416
G議場	中学	センター棟 401

## 施設の案内 Map of the Center

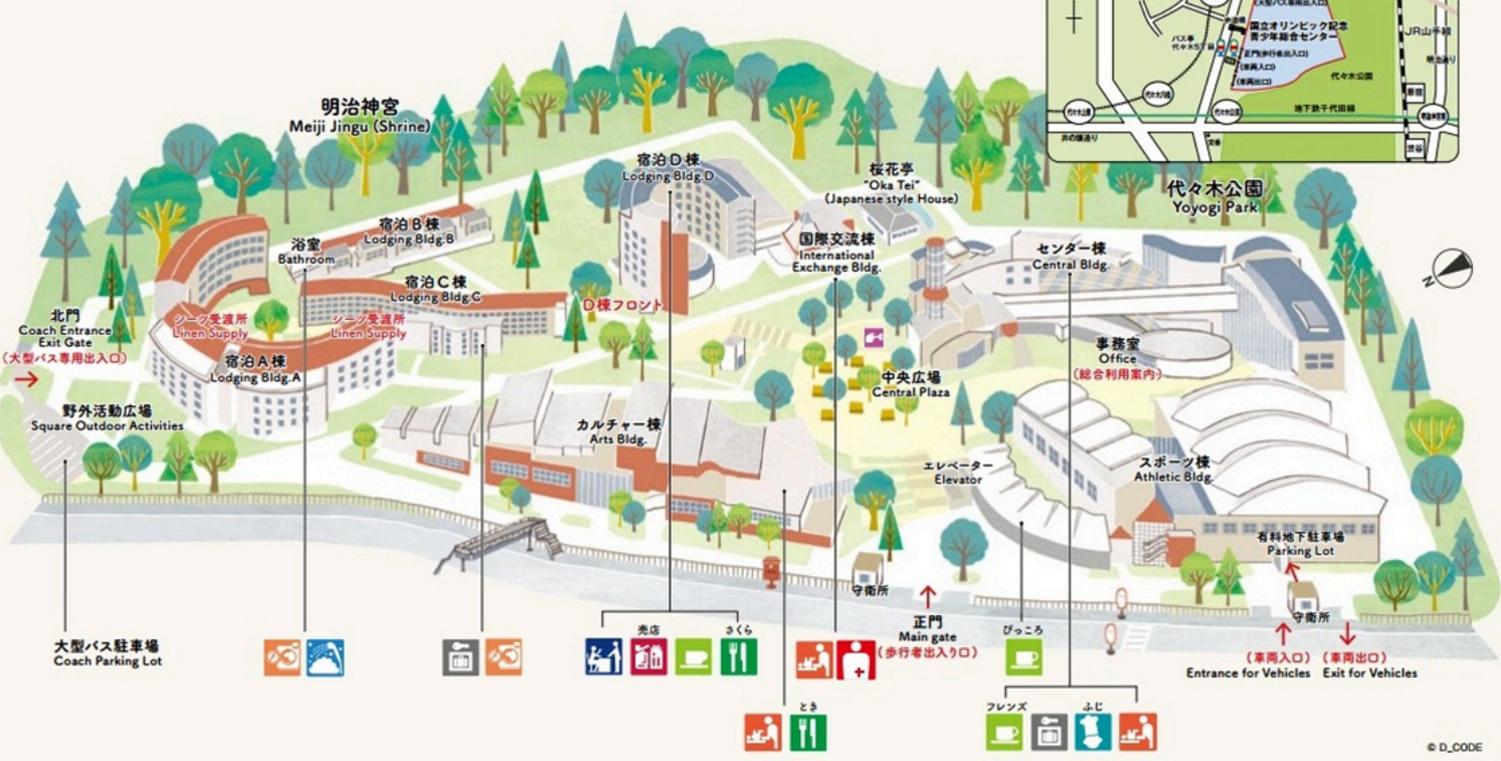
- 食堂  
■ DINING HALL
- レストラン  
■ RESTAURANT
- 宿泊者用浴室  
■ BATH ROOM
- コインロッカー  
■ LOCKER
- 喫茶コーナー  
■ COFFEE SHOP
- 売店  
■ SHOP
- 自販機  
■ VENDING MACHINE
- おむつ交換所  
■ CHANGE THE DIAPER PLACE
- サービスコーナー(右記後)  
■ SERVICE CORNER
- コインランドリー  
■ COIN LAUNDRY
- オストメイト対応トイレ  
■ MULTI-PURPOSE ROOM

### 交通案内

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分【代々木公園方面出口】
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車  
渋谷駅西口(14番)より



**国立オリンピック記念青少年総合センター**  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号  
申込受付専用電話 03(3469)2525 FAX. 03(3469)2277  
ホームページ <http://nyc.niye.go.jp>



## 参加校一覧(公開日時点)

青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校	逗子開成中学校・高等学校	立命館高等学校
浅野中学校・高等学校	清教学園高等学校	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	成蹊高等学校	
市川学園 市川高等学校	聖光学院中学校高等学校	
茨城県立竹園高等学校	聖心女子学院中等科・高等科	以上114校
茨城県立並木中等教育学校	清泉女学院高等学校	
江戸川学園取手中・高等学校	玉川学園中学高等部	
鷗友学園女子中学高等学校	中央大学杉並高等学校	
大阪府立北野高等学校	土浦日本大学高等学校	
大阪府立水都国際中学校	土浦日本大学中等教育学校	
大谷中学・高等学校	帝京高等学校	
大妻中学高等学校	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	
大妻多摩高等学校	帝塚山学院中学校高等学校	
お茶の水女子大学附属高等学校	田園調布学園高等部	
海城中学高等学校	田園調布雙葉高等学校	
開成高等学校	天王寺学館高等学校	
海陽中等教育学校	東海高等学校	
かえつ有明高等学校	東京女学館中学高等学校	
鹿児島情報高等学校	東京都立大学 等々力中学校・高等学校	
学校法人角川ドワンゴ学園 S高等学校	東京都立桜修館中等教育学校	
学校法人角川ドワンゴ学園 N高等学校	東京都立小石川中等教育学校	
神奈川県立厚木高等学校	東京都立武蔵高等学校	
神奈川大学附属中・高等学校	東京農業大学第一高等学校	
神奈川県立横浜国際高等学校	東京農業大学第三高等学校	
神奈川県立横浜清陵高等学校	東洋大学附属牛久高等学校	
岐阜県立岐阜高等学校	徳島県立城ノ内中等教育学校	
岐阜県立多治見北高等学校	栃木県立佐野高等学校	
佼成学園女子高等学校	鳥取県立倉吉東高等学校	
公文国際学園中等部・高等部	鳥取県立米子東高等学校	
クラーク記念国際高等学校	鳥取県立鳥取東高等学校	
クラーク記念国際高等学校 SMART千葉	長崎県立佐世保商業高等学校	
群馬県立中央中等教育学校	名古屋中学校・高等学校	
恵泉女学園高等学校	新潟県立直江津中等教育学校	
甲府西高等学校	西大和学園高等学校	
神戸国際高等学校	広島県立広島叡智学園高等学校	
国際基督教大学高等学校	フェリス女学院高等学校	
小林聖心女子学院高等学校	福井県立敦賀高等学校	
駒込中学高等学校	不二聖心女子学院高等学校	
駒場東邦中学校・高等学校	富士見丘中学高等学校	
済美高等学校	富士見中学校高等学校	
酒田南高等学校	武南高等学校	
桜丘高等学校	法政大学国際高等学校	
札幌日本大学中学校高等学校	北陸学園北陸高等学校	
自修館中等教育学校	松商学園高等学校	
実践女子学園中学校高等学校	宮城県仙台二華高等学校	
渋谷教育学園渋谷中学高等学校	三田国際科学学園	
渋谷教育学園幕張高等学校	三輪学園高等学校	
嶋田学園飯塚高等学校	茗溪学園中学校高等学校	
島根県立出雲高等学校	森村学園中等学校	
昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校	八千代松陰高等学校	
十文字高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校	
淑徳高等学校	山形県立山形東高等学校	
頌栄女子学院中学校	山脇学園高等学校	
昌平高等学校	横浜隼人中学・高等学校	
私立茨城高等学校	横浜富士見丘学園中学校・高等学校	
水城高等学校	立教女学院高等学校	

## 後援団体・協賛企業一覧(公開日時点)

### 後援団体

外務省

国連広報センター

文部科学省

### 助成団体

公益財団法人 公文国際奨学財団

### 協賛企業

株式会社 公文教育研究会

株式会社 実教出版

株式会社 第一学習社

株式会社 帝国書院

### 協力

理想科学工業株式会社

## 大会実行委員一覧

### 大会実行委員長

斉藤央（渋谷教育学園渋谷高等学校）

### 運営受付セクション

田嶋万桜（公文国際学園高等部） \*\*セクションリーダー\*\*

丸山莉子（市立札幌開成中等教育学校）

町田璃子（お茶の水女子大学附属高等学校）

谷口琳南（清教学園高等学校）

水木颯人（玉川学園高等部）

小林愛希（茗溪学園高等学校）

石井虹衣（帝京高等学校） \*広報兼任\*

結城遥香（茗溪学園高等学校） \*広報兼任\*

大隅麗叶（十文字高等学校） \*広報兼任\*

### フロントセクション

中田侑之介（浅野高等学校） \*\*セクションリーダー\*\*

二井春香（渋谷教育学園渋谷高等学校）

松本菜奈（帝京高等学校）

江尻あい（鷗友学園女子高等学校）

大久保鈴音（淑徳高等学校）

山田里奈（茗溪学園高等学校）

小島杏里（渋谷教育学園渋谷高等学校）

史馨茹（武南高等学校）

伊藤佳那子（聖心女子学院高等学校）

平松佑菜（岐阜県立岐阜高等学校）

萩原育斗（中央大学杉並高等学校）

久保あいり（清教学園高等学校）

ハサンザディビタ（玉川学園高等部）

朝倉菜摘（三輪田学園高等学校）

三木利彩（洗足学園高等学校）

前原悠作（岐阜県立岐阜高等学校）

松澤凜歩（玉川学園高等部）

高田幸尚（玉川学園高等部）

多田大（渋谷教育学園幕張高等学校）\*広報兼任\*

## 広報セクション

吉野紅彩（大妻高等学校）\*\*セクションリーダー\*\*

結城遥香（茗溪学園高等学校）\*運営受付兼任\*

石井虹衣（帝京高等学校）\*運営受付兼任\*

大隅麗叶（十文字高等学校）\*運営受付兼任\*

多田大（渋谷教育学園幕張高等学校）\*フロント兼任\*

## BG担当

福岡加帆（共立女子高校）

北川眞子（共立女子高校）

鈴木花果（共立女子高校）

## 大会事務局一覧

### 大会事務局長

宮坂 武志(浅野中学校・高等学校)

### 運営受付セクション

澤田 宏(県立岐阜高校)

内田 美穂(三輪田学園高等学校)

宮坂 武志(浅野中学校・高等学校)

仲川 英里香(逗子開成高等学校)

### フロントセクション

飯島 裕希(お茶の水女子大学附属高等学校)

室崎 摂(渋谷教育学園渋谷高等学校)

後藤 芳文(玉川学園高等部)

末廣 彬(帝京高校)

松永 啓佑(市川高等学校)

齊藤 智晃(渋谷教育学園幕張高等学校)

### 広報セクション

米山 宏(公立小学校)

### BG担当

松永 啓佑(市川高等学校)

齊藤 智晃(渋谷教育学園幕張高等学校)

### 事務局スタッフ

江口 花音(東京大学)

水谷 泰我(早稲田大学)

